

# 復習シート 第一学年 国語

【R3】 復習シート 中学校2年 国語（書くこと）

組	番号	名前

【自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書く問題】  
**①** 川口さんは、「卒業」をテーマに俳句を創作しています。次は、川口さんが、【創作している俳句】とその俳句の□に入れる【言葉の候補】、川口さんが見ている

【辞典の記述】です。あなたなら、【言葉の候補】の中のどの言葉を選択しますか。AからCまでのなかから一つ選び、（【言葉の候補】の中のどの言葉を選んでもかまいません。）それを選んだ理由を、あとで条件1と条件2にしたがって書きなさい。  
 なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。  
 レベル9～11

## 【創作している俳句】

卒業に こぼれる涙  
と

## 【辞典の記述】

ほろほろ 軽いものが、音もなく続けてこぼれ落ちる様子。  
**②** 山鳥・雉・鳩といった鳥の鳴く声。  
 ほろぼろ **①** 大粒の涙をこぼす様子。かたまりや粒などが、続けてこぼれ落ちたり崩れたりする様子。  
**②** 物がひどく破れたり崩れたりしている様子。  
 ぽろぽろ **①** 涙や小さい粒状のものなどが、一粒ずつ続けてこぼれ落ちる様子。  
**②** ひとたまりになっていたものが水分を失つて、ぱらばらになる様子。

## 【言葉の候補】

C B A  
ほろほろ  
ぽろぼろ  
ぽろぼろ

## 条件1

選んだ【言葉の候補】について、【辞典の記述】の中のどのような意味に着目したのかを、他の【言葉の候補】の意味との違いが分かるように書くこと。

## 条件2

選んだ【言葉の候補】を用いることで、どのような情景や心情を表現できると考えたのかを、条件1で取り上げた意味をもとに具体的に書くこと。

←選んだ【言葉の候補】を塗りつぶしなさい。

## 【言葉の候補】

Ⓐ Ⓑ Ⓒ



埼玉県学力・学習状況調査  
コパン

# 復習シート 第一学年 国語

## 模範解答

組	番号	名前

【自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書く問題】

① 川口さんは、「卒業」をテーマに俳句を創作しています。次は、川口さんが、【創作している俳句】とその俳句の□に入れる【言葉の候補】、川口さんが見ている【辞典の記述】です。あなたなら、【言葉の候補】の中のどの言葉を選択しますか。AからCまでのなかから一つ選び、（【言葉の候補】の中のどの言葉を選んでもかまいません。）それを選んだ理由を、あとで条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。レベル9～11

### 【創作している俳句】

卒業に こぼれる涙

と

### 【辞典の記述】

ほろほろ ①涙や葉・花びらといった小さく軽いものが、音もなく続けてこぼれ落ちる様子。②山鳥・雉・鳩といった鳥の鳴く声。  
ぼろぼろ ①大粒の涙をこぼす様子。かたまりや粒などが、続けてこぼれ落ちたり崩れたりする様子。②物がひどく破れたり崩れたりしている様子。

ぼろぼろ ①涙や小さい粒状のものなどが、一粒ずつ続けてこぼれ落ちる様子。②ひとたまりになっていたものが水分を失つて、ぱらぱらになる様子。

### 【言葉の候補】

C B A  
ほろほろ  
ぼろぼろ  
ぼろぼろ

### 【言葉の候補】

- Ⓐ
- Ⓑ
- 

←選んだ【言葉の候補】を塗りつぶしなさい。

条件1 選んだ【言葉の候補】について、【辞典の記述】の中のどのような意味に着目したのかを、他の【言葉の候補】の意味との違いが分かるように書くこと。

条件2 選んだ【言葉の候補】を用いることで、どのような情景や心情を表現できると考えたのかを、条件1で取り上げた意味をもとに具体的に書くこと。

A 私は「ほろほろ」の「小さく軽いものが、音もなく続けてこぼれ落ちる」という意味に着目しました。「ぼろぼろ」には「大粒の涙をこぼす」、「ぼろぼろ」には「粒ずつ続けてこぼれ落ちる」などの意味がありますが、私は、卒業式の厳かな雰囲気の中で静かに涙を流す様子を表現したいので、「音もなく」という意味がある「ほろほろ」を選びました。



B 音もなく涙を流す様子を表す「ほろほろ」や、一粒ずつ続けてこぼれ落ちる様子を表す「ぽろぽろ」ではなく、大粒の涙を流す様子を表す「ぼろぼろ」という言葉を選んだ。なぜなら、三年間とも過ごした仲間たちと別れる悲しみの深さを、涙の大きさで表したからだ。

C 私は「ぽろぽろ」という言葉だけにある「一粒ずつ続けてこぼれ落ちる」という意味に着目しました。私は、中学校生活のたくさんの出来事を一つずつ思い出している卒業生の心情をこの俳句で表現したいと考えました。

